

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	105 -	事業名	後期高齢者医療・健診事業	担当部課	福祉部保険医療課
------	-------	-----	--------------	------	----------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち	会計	8	後期高齢者医療特別会計
		分野別項目	12	生活習慣病を予防する保健サービスを充実する	款	1	総務費
		施策の進め方	1	健診・保健指導の充実	項	3	保健事業費
	まちづくり行程表	フラッグ	F2	「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～	目	1	保健事業費
		政策分類	-		大事業	2	健診事業
	その他(関係法令、要綱等)	高齢者の医療の確保に関する法律、愛知県後期高齢者医療健康診査事業実施要綱					
事業開始の背景、経緯等	後期高齢者医療の保険者である愛知県後期高齢者広域連合は、生活習慣病の早期発見、重症化予防のため健康診査を行うこととなっている。愛知県後期高齢者広域連合は県下の市町村に委託して事業を実施している。						

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 健康診査の実施					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民(愛知県後期高齢者医療の被保険者)					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 対象者が自らの生活習慣における健康課題を認識して、行動変容と自己管理ができるようにする。					
	事業を構成する事務事業	① 後期高齢者医療・健診事業	改善・見直し	④			
				⑤			
				⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)	千円	決算	予算		18,524	20,401	24,214
決算					18,331	20,447	23,246	
人件費(B)	千円	決算		-	-	571		
総コスト(A)+(B)	千円	決算		-	-	23,817		

成果推移	成果指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	A 健康診査 受診率(愛知県後期高齢者広域連合発表値)	%	目標	41.47	40.79	47.73	45.89	49.21
			実績	42.39	45.73	47.89	44.54	
	B		目標					
			実績					
C		目標						
		実績						

【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)

A 平成30年度の受診票送付者は2,559名(申込者+前年度受診者)。このうち、90%が受診すると見込んだ。(うち年齢未到達者を除く)

B

C

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 県下の平成28年度の平均受診率は35%であり、本市の受診率は県下で12番目に高い。
------	-----------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 受診率の向上のため、受診勧奨対象者を平成30年度から拡大して勧奨している。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 健康診査の受診率は県下でも高い方である。今後は、健診結果を分析し、医療費の抑制につながるような施策を検討する必要がある。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 受診結果を生かすために結果をデータ化して分析する。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 本市の健診受診率は県下でも高い方であるが、1人あたり医療費は、県下で18番目に高い。健診の受診が医療費の抑制につながるよう、生活習慣病の重症化予防事業を検討・実施する。(2023年度までに事業実施)

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		後期高齢者医療・健診事業									
番号	①	事務事業名	後期高齢者医療・健診事業	款	1	項	3	目	1	大事業	2	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成20年度		終了（予定）年度		—						

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 後期高齢者医療被保険者に対して、市内の医療機関で健康診査を実施。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 生活習慣病を早期に発見し、重症化予防するため、対象者が自らの生活習慣における健康課題を認識し、行動変容と自己管理ができるようにする。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算 決算	18,524 18,331	20,401 20,447	24,214 23,246	24,874	
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
① 後期高齢者保健事業委託						22,802	千円
② 通信運搬費						274	千円
③ 印刷製本費						162	千円

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
健診受診者数	人	目標	1,400	1,452	1,810	1,879	2,136
		実績	1,431	1,628	1,816	1,824	
		目標					
		実績					

<備考：活動の概要（当該事業年度）>  
後期高齢者被保険者数 4,095人  
健康診査 受診者数：1,824人 受診率：44.54%（速報値）

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

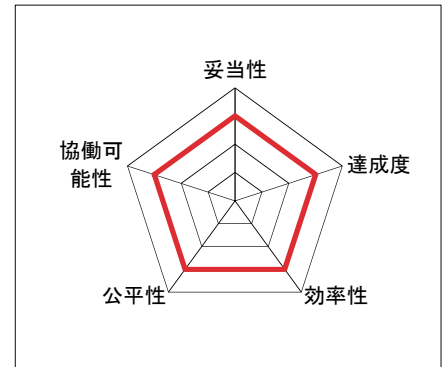
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 愛知県後期高齢者医療広域連合が第2期データヘルス計画を策定するため、その計画を踏まえて事業を実施する。
-------------------------------------------------------------------------------

## 5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>  ※新規行政評価対象  (何をどのような状態に改善したのか) —
----------------------------------------------------------------------

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど) 本市は、県下で受診率が12番目に高い。
--------------------------------------------------

### 【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど) これまでは健診結果を紙媒体で管理していたので、今後、データ化することで健康課題の把握などに活用できるようにする必要があります。
---------------------------------------------------------------------------------------------

## 7. 今後の方向性

### 改善・見直し

### 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 健診受診率向上のため、前年度未受診者に対しても受診勧奨を行う。 健診受診結果をデータ化して健康課題の分析を行う。 健診だけでなく、国保保険者の実施する保健事業等と連携して生活習慣病の重症化予防事業を実施する。
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------